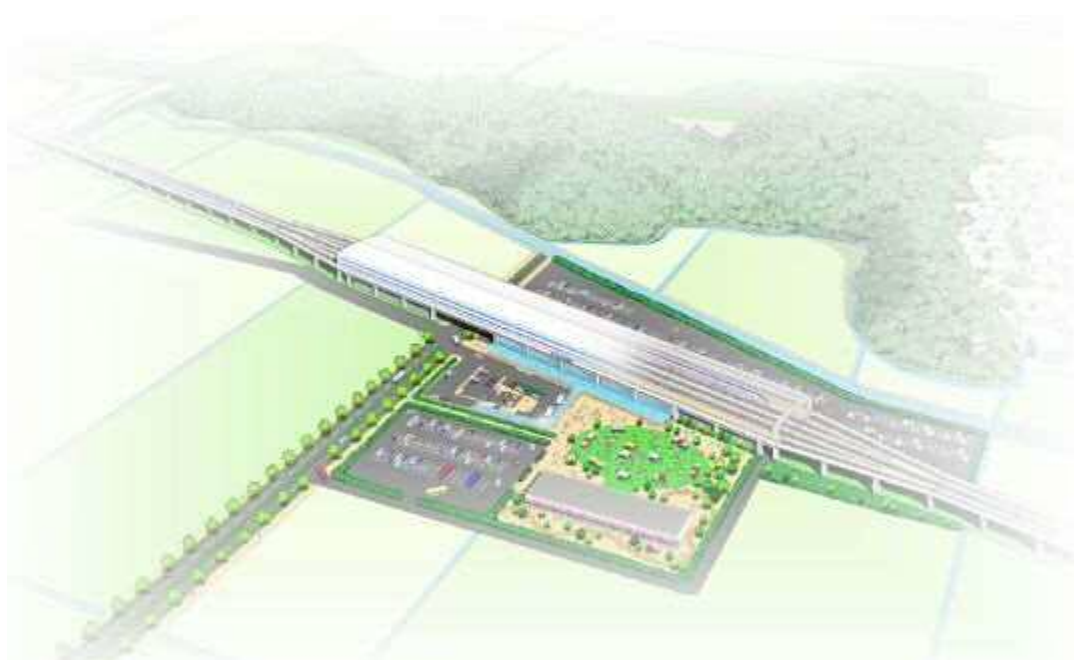


# 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画

## 概要版



【鳥瞰イメージ】

平成27年12月



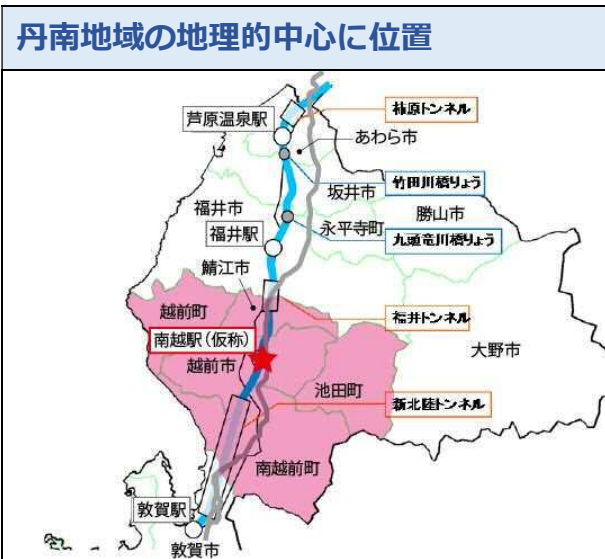
## 目 次

<b>1 南越駅（仮称）の概要</b>	
（1）南越駅（仮称）の位置	1
（2）南越駅（仮称）の利用者推計と駅勢圏人口推計	1
<b>2 駅周辺整備方針</b>	
（1）基本計画の考え方	2
（2）基本理念と4つの展開	2
（3）駅周辺整備コンセプト	3
（4）駅舎デザインコンセプト	3
<b>3 アクセス道路計画</b>	
（1）駅周辺地域の特徴	4
（2）L型の一体的なアクセス道路	4
<b>4 駅周辺整備のデザイン計画</b>	
（1）整備する施設の配置計画	5
（2）整備する施設の規模	5
<b>5 道の駅としての施設</b>	
（1）道の駅としての施設	6
（2）道の駅としての施設駐車場	7
（3）道の駅としての施設等の規模	7
<b>6 駅周辺整備のまとめ</b>	
（1）駅周辺整備	8
（2）イメージパース	9
（3）整備手法	10
（4）整備スケジュール	10
<b>7 二次交通</b>	11
<b>8 土地利用計画</b>	11

# 1 南越駅(仮称)の概要

## (1) 南越駅(仮称)の位置

南越駅(仮称)周辺地域は、市及び丹南地域の中心に位置し、新幹線、北陸自動車道武生インターチェンジ、国道8号、県道が近接する広域交通の結節点といった地理的特性をもっています。また、県内の4つの駅の中で唯一の新設駅となります。



## (2) 南越駅(仮称)の利用者推計と駅勢圏人口推計

南越駅(仮称)の利用者推計及び駅勢圏人口推計は、金沢～敦賀間開業後の平成37年を基準年度とし、それぞれ直近の統計資料を基にして推計しました。

### ① 利用者推計

	平成37年
(1) 在来線からの転換利用者数	1,364人
(2) 自動車からの転換利用者数	334人
(3) 新幹線開業による誘発利用者数	234人
合計	1,932人
利用者推計	2,000人

### ② 駅勢圏人口推計

駅勢圏を丹南地域とし、丹南地域の人口を基本に推計しました。

駅勢圏人口	142,018人
-------	----------

## 2 駅周辺整備方針

### (1) 基本計画の考え方

「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」は、平成15年に策定した「南越駅周辺整備構想」の基本理念である「交流促進の起点 南越駅周辺地域」を実現させるための具体的な方策等について策定するものです。

### (2) 基本理念と4つの展開

#### ■ 基本理念

基本理念は、南越駅周辺整備構想の「基本理念」を継承しました。

#### 交流促進の起点 南越駅周辺地域

～ 丹南地域の人・自然・伝統・文化とのふれあいによる新たな出会い ～

#### ■ 4つの展開

南越駅周辺整備構想の「4つの展開」を駅周辺地域の地理的特性を生かして具現化するとともに駅周辺地域が担うべき役割を整理しました。

#### ① 「交流の起点 ～交通結節点と地域資源への誘導の場の創出～」

- 地域の中心に位置し、北陸自動車道武生インターチェンジや国道8号と近接する地の利を生かし、地域外から活力を呼び込む広域交通拠点（ゲートウェイ）の位置づけを確立し、2つのまちなかの交通結節点（ハブ）や地域資源へ誘導する役割を担う
- 災害時には、交通結節点を生かした防災機能が発現するような役割を担う

#### ② 「伝統・文化とのふれあい ～伝統・文化、匠の技との出会いの場の創出～」

- 越前国府1,300年の悠遠な時が生んだ伝統と文化、古代伝説の時代から継承と創造を繰り返す匠の技との新たな出会いを創出する役割を担う

#### ③ 「人とのふれあい ～来訪者と地域住民の交流の場の創出～」

- 新幹線のみならず、北陸自動車道武生インターチェンジや国道8号からの来訪者と、地域住民の新たな交流を創出する役割を担う

#### ④ 「自然とのふれあい ～豊かな自然を感じる、癒しの場の創出～」

- 田園や日野山など豊かな自然環境を感じとることができ、心地よい癒しの空間を創出する役割を担う

### (3) 駅周辺整備コンセプト

駅周辺に整備する機能、施設や駅舎デザインコンセプトに統一感を持たせるために、基本理念や4つの展開を基にして「駅周辺整備コンセプト」を定めました。

#### 『 伝統・文化を未来につなぐ癒しと交流の空間 』

丹南地域の広域交通の玄関口となる南越駅（仮称）は、集積する伝統産業や先端産業を生かすなど、丹南地域の伝統・文化を結び付け、地域資源を再発見したり、新しい価値をもった情報を発信したりする起点として整備し、地域を活性化する空間を創出します。

また、南越駅周辺のまちづくりの主役である「地域の住民」に親しまれるとともに、訪れた人が日野山などの山並みやコウノトリが舞う里を感じ、癒される場を創出します。

さらに、北陸自動車道武生インターチェンジや国道8号が近接する広域交通の結節点といった地理的特性を生かして、新幹線利用者のみならず道路利用者の利用もできる道の駅としての機能や防災機能を持ち、賑わいや安全・安心をもたらす場を創出します。

### (4) 駅舎デザインコンセプト

「駅舎デザインコンセプト」は、駅周辺整備コンセプトと調和を図るとともに、市及び丹南地域の伝統・文化を未来につないでいくことを主眼として定めました。

「駅舎デザインコンセプト」は、駅舎の建設主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に示し、駅周辺整備と統一感を持った駅舎となるよう要望します。

#### 『 伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅 』

越前国府1,300年の歴史に育まれた文化や古代伝説の時代から継承と創造を繰り返す匠の技といった、市及び丹南地域特有の伝統・文化を生かした、他では真似のできないシンボルとなるデザインとするとともに、コウノトリが舞う里や周囲の豊かな自然に溶け込み、駅周辺整備のコンセプトに調和した、シンボル性を備えながらも趣のあるデザインとします。

- ① 地域の特色を感じる顔となるデザイン
- ② 地域に長く大事にされる親しみのあるデザイン
- ③ 周囲の環境に調和した趣のあるデザイン
- ④ 越前和紙等の丹南地域の伝統産業を表現するスペースの設置
- ⑤ 光を取り入れた開放的な雰囲気醸成



### 3 アクセス道路計画

#### (1) 駅周辺地域の特徴

駅周辺地域は、東は岐阜県や池田町から西は越前海岸までの東西の地域連携軸と、南は滋賀県や敦賀市から北は福井市や石川県までの南北の地域連携軸が交わる結節点となります。また、2つの地域連携軸の周辺には、伝統産業をはじめ魅力ある地域資源が多く点在しています。

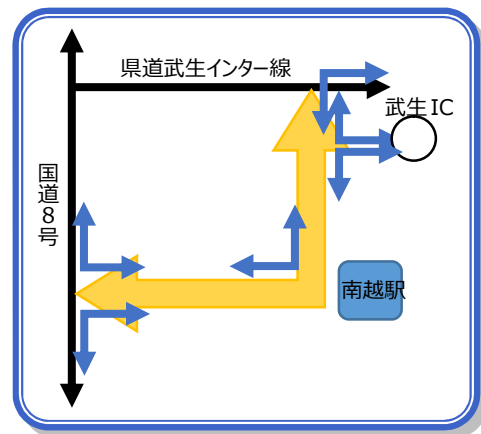
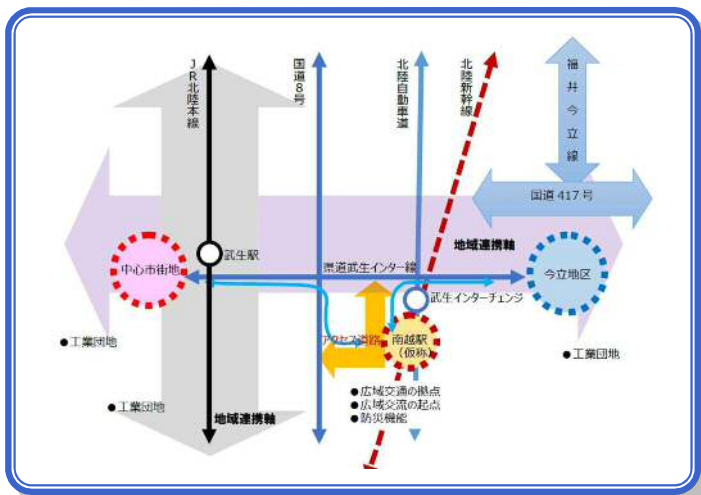
#### 地域連携軸が交わる交通要衝の地と丹南地域の多様な地域資源



#### (2) L型の一体的なアクセス道路

南越駅（仮称）と駅周辺、並びに東西の地域連携軸、南北の地域連携軸及び北陸自動車道武生インターチェンジを一体的に結ぶために、東西のアクセス道路と南北のアクセス道路を「L型の一体的なアクセス道路」として計画しました。

（動線の概念）



## 4 駅周辺整備のデザイン計画

### (1) 整備する施設の配置計画

- ・駅前広場や道の駅としての施設等は西側に配置し、パーク&ライド駐車場は駅舎の東側に配置しました。
- ・道の駅としての施設と多目的広場、修景施設をまとめて配置し、歩行者動線が車道によって分断されない配置にすることで、一体感と賑わいを創出できるように配慮しました。



### (2) 整備する施設の規模

<b>駅西側</b> (約2.3ha)	<b>■ 駅前広場(4,800㎡)</b> バス5バース、タクシー2バース、タクシープール3バース、一般車乗降1バース、短時間駐車場33台 (算定方法) > 駅利用者推計を基に、端末交通手段別の利用割合を設定した上で、駅前広場計画指針(98年式)に基づき算定
	<b>■ 道の駅としての施設(8,000㎡)</b> (算定方法) > 施設規模は道の駅事例を基に算定 > 駐車場規模は周辺道路の現況交通量から、道の駅の手引き(一般国道の休憩施設計画の手引き(案))に基づき算定
	<b>■ 多目的広場(3,000㎡)</b> (算定方法) > 先行事例を基に算定
	<b>■ 修景施設(7,000㎡)</b> (算定方法) > 10分程度で散策が可能な規模、駅舎や駅周辺施設を修景できる規模として算定
<b>駅東側</b> (約1.8ha)	<b>■ パーク&amp;ライド駐車場(18,000㎡) 600台</b> (算定方法) > 駅利用者の端末交通手段構成を基に算定
<b>合計</b>	<b>約4.1ha</b>

## 5 道の駅としての施設

### (1) 道の駅としての施設

駅周辺に期待される役割

#### 1. 広域交通の拠点

- 高速・広域交通網が近接している立地特性を生かして、丹南地域内観光におけるトランジットの際に人々が利用する玄関口として機能し、地域資源への立ち寄りを促す広域交通の拠点としての役割

#### 2. 広域交流の起点

- 幅広い交通手段で訪問しやすい立地を生かし、丹南地域へ訪れた人々に、伝統産業の魅力や奥深さ、自然や食の魅力、地域住民の活力を伝え、各地へ導く交流の起点としての役割
- 施設は駅利用者のためだけでなく、道路利用者のための施設としても機能することで、駅前賑わいの向上とさらなる魅力を伝える役割

#### 3. 防災機能

- 震災やその他災害時において、被災者支援や復興支援、避難者の受け入れ先としての役割
- 台風や大雨、冬季の暴風雪において、避難者の受け入れ先としての役割

駅舎の外に「道の駅としての施設」を整備する

道の駅としての施設

- ①地域の価値や魅力を向上させるゲートウェイ施設
- ②匠の技にふれあえる伝統産業交流施設
- ③伝統産業製品を購入できる物販施設
- ④地域の特産物や加工品を購入できる物販施設
- ⑤地域の食材や加工品を味わえる飲食施設
- ⑥地域のイベント等を開催できる多目的広場

⑦来訪者や地域住民がやすらぎ癒される修景施設

⑧(オプション) コウノトリが舞う里や新幹線を眺められる展望空間



## (2) 道の駅としての施設駐車場

国道8号等の交通量や駅利用者推計の端末交通手段構成等に基づき算定し、道の駅としての施設の駐車場の必要台数を小型車88台、大型車23台と計画しました。

駐車場台数	
小型車	88台
大型車	23台
駐車場規模	
合計	6,000㎡

## (3) 道の駅としての施設等の規模

道の駅としての施設等の規模について、下記のとおり想定しました。

施設分類	面積
◆道の駅としての施設	約8,000㎡
① 地域の価値や魅力を向上させるゲートウェイ施設	1,700㎡
② 匠の技にふれあえる伝統産業交流施設	
③ 伝統産業製品を購入できる物販施設	
④ 地域の特産物や加工品を購入できる物販施設	
⑤ 地域の食材や加工品を味わえる飲食施設	
施設駐車場	6,000㎡
◆多目的広場 ⑥ 地域のイベント等を開催できる多目的広場	3,000㎡
◆修景施設 ⑦ 来訪者や地域住民がやすらぎ癒される修景施設	7,000㎡

## 6 駅周辺整備のまとめ

### (1) 駅周辺整備

- ・アクセス道路は、南越駅（仮称）、北陸自動車道武生インターチェンジ、国道8号及び県道武生インター線を接続する「L型の一体的なアクセス道路」とします。
- ・駅前広場や道の駅としての施設等は、アクセス道路との接続に配慮して駅舎の西側に配置し、パーク&ライド駐車場は、駅前広場や道の駅としての施設等の施設利用者の歩行者動線が車道によって分断されないよう駅舎の東側に配置します。
- ・道の駅としての施設と多目的広場、修景施設をまとめて配置し、歩行者動線が車道によって分断されない配置にすることで、一体感と賑わいを創出します。

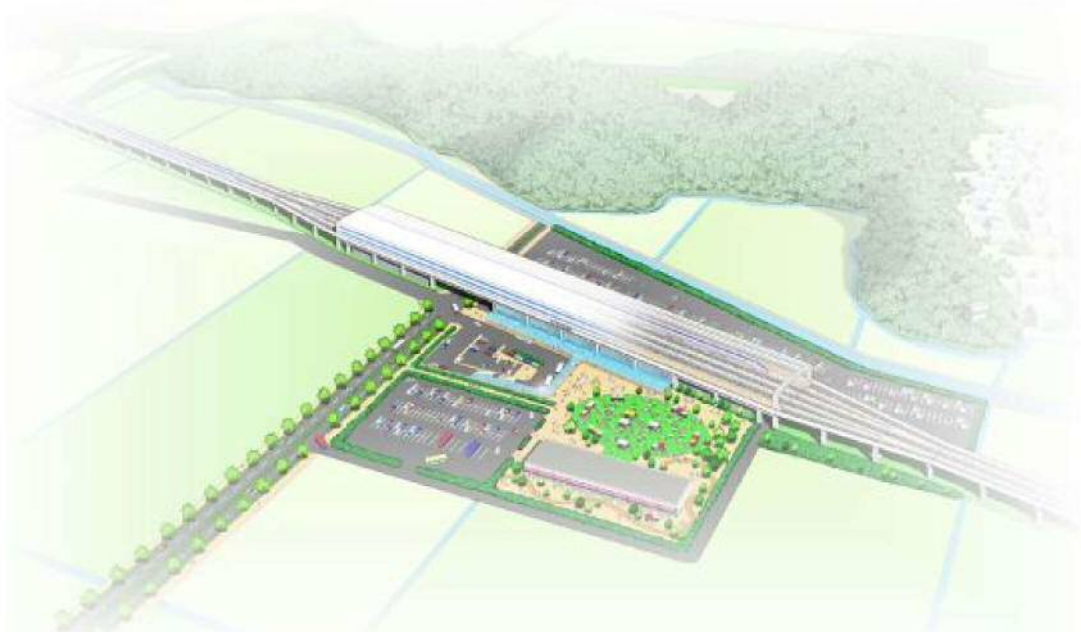


## (2) イメージパース

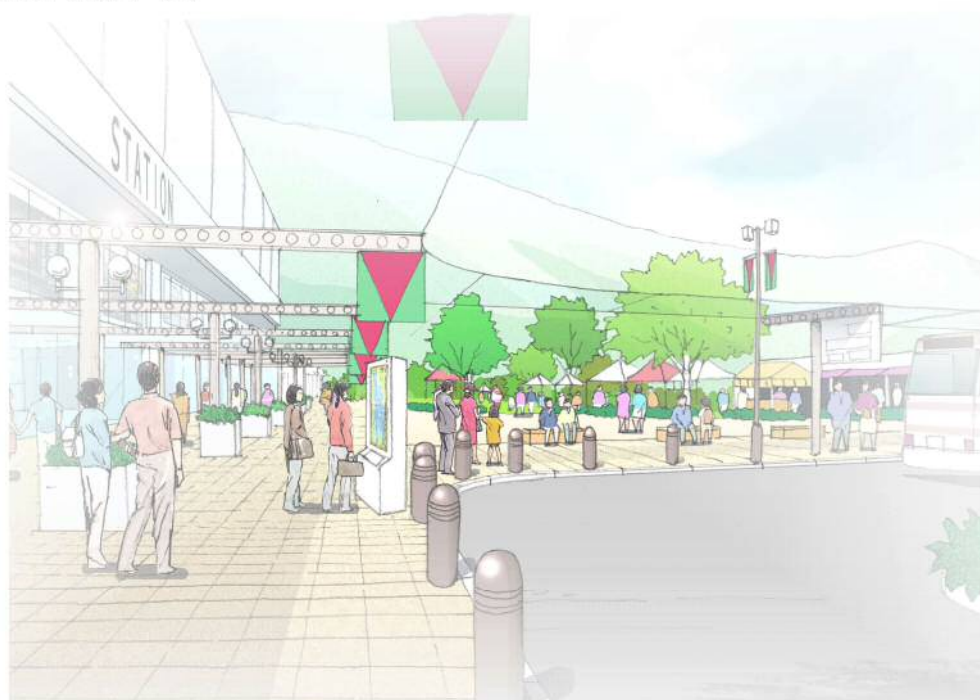
「伝統・文化を未来につなぐ癒しと交流の空間」を駅周辺整備コンセプトとし、シンボルとしての駅舎を中心に「広域交通の拠点」や「広域交流の起点」にふさわしい駅周辺の空間を形成していきます。

駅周辺整備に向けて、今後は、基本計画を踏まえ、基本設計、実施設計へと進めて基本計画を具体化していきます。

鳥瞰パース



アイレベルパース



### (3) 整備手法

アクセス道路、駅前広場及び修景施設は、公共による整備及び管理・運営を基本とします。

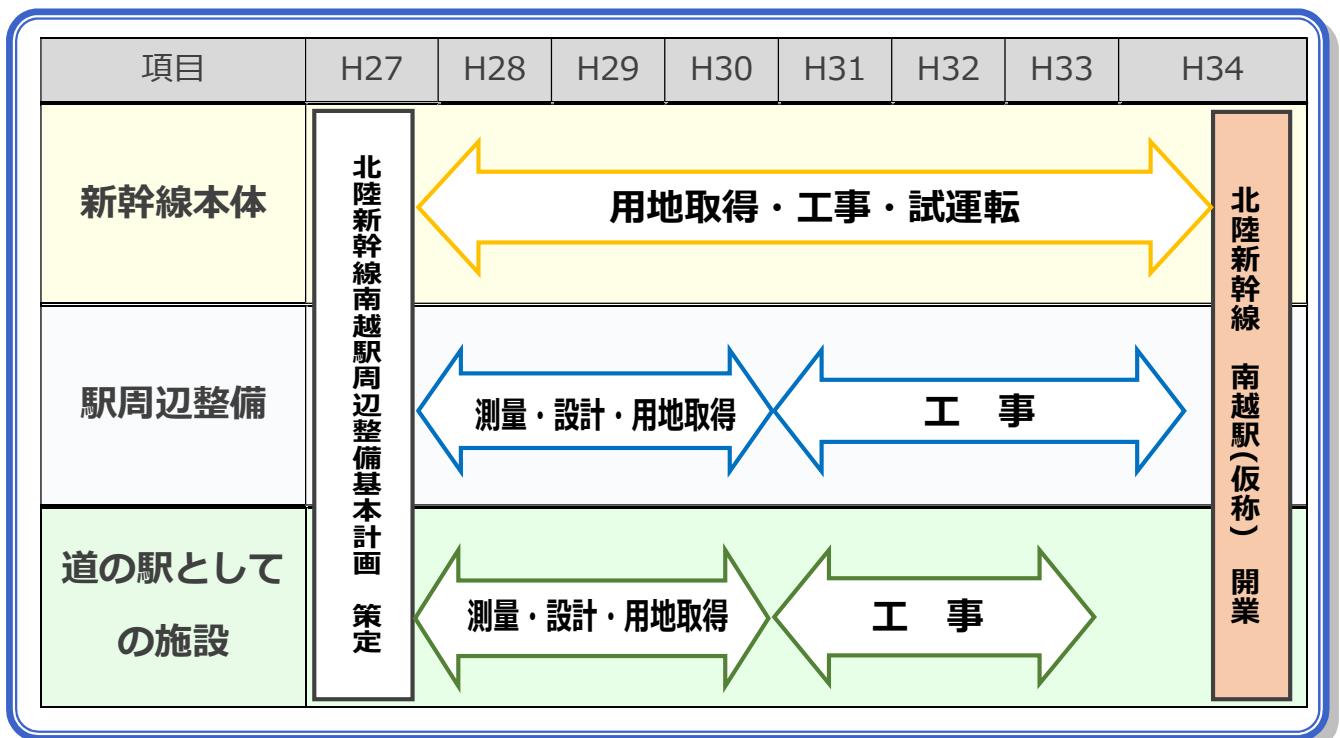
パーク&ライド駐車場は、公共による整備及び管理・運営を基本としますが、料金設定等条件によっては、民間の経営ノウハウ等を活用した管理・運営を行う公設民営方式を検討します。

道の駅としての施設は、地域振興に関する機能・施設が収益施設となるため、公共と民間の様々な連携・役割分担のもと、整備及び管理・運営を行うことが必要で、公設民営方式やPFIといった民設民営方式を検討します。

管理・運営 \ 整備	公共	民間
公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アクセス道路</li> <li>◆駅前広場</li> <li>◆修景施設</li> </ul>	※今回検討施設において、本方式を用いた整備事例なし
民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆パーク&amp;ライド駐車場</li> </ul>	
	◆道の駅としての施設	

### (4) 整備スケジュール

平成 35 年春の開業に向けて計画的に駅周辺整備事業を進めます。

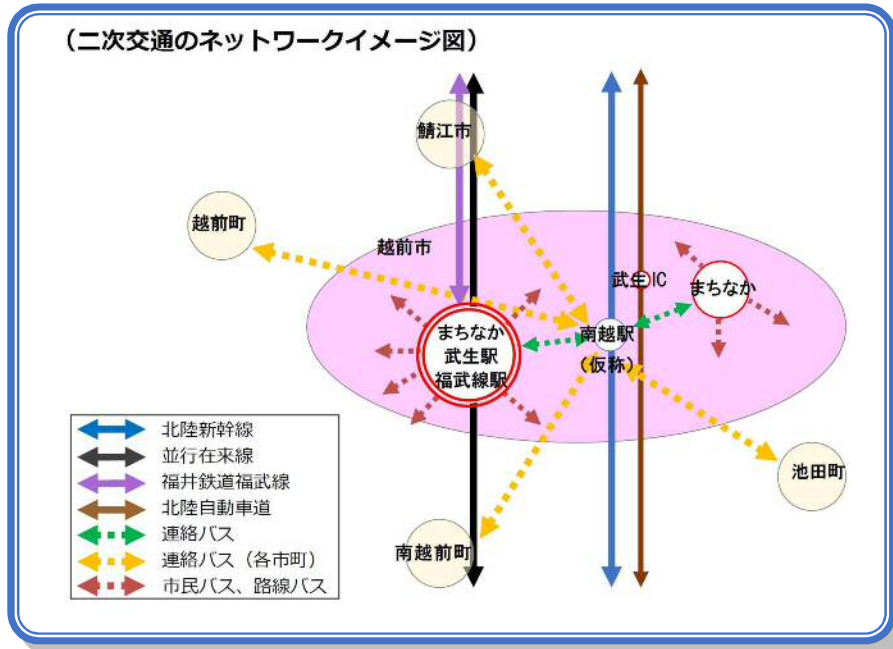




## 7 二次交通

周辺市町が連携してバス路線を体系的に整備することが重要です。

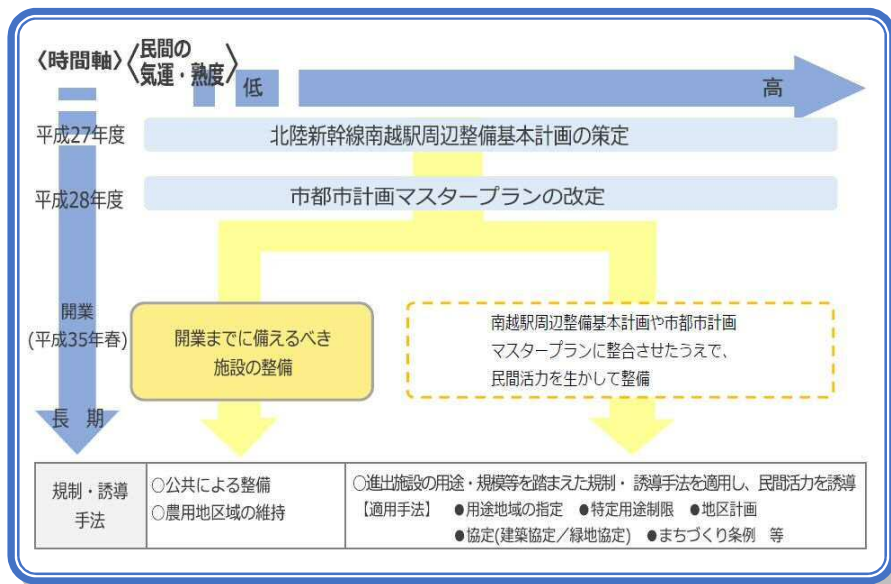
また、鉄道事業者やレンタカー事業者等との連携を図りながら、レンタカーやカーシェアリングの仕組みづくりを検討していきます。



## 8 土地利用計画

開業までに備えるべき施設(駅周辺整備：アクセス道路、駅前広場、パーク&ライド駐車場、道の駅としての施設、修景施設)を「先行的に整備する区域」、その他の区域を「社会情勢を見据えながら整備を検討する区域」として定めます。

「先行的に整備する区域」については、基本的に公共が整備します。「社会情勢を見据えながら整備を検討する区域」については、将来の社会経済情勢や駅周辺地域の整備状況を鑑みたうえで、市都市計画マスタープランに整合した土地利用を慎重に検討していきます。





## 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画（概要版）

---

平成27年12月策定

---

編集・発行 越前市企画部まちづくり・交通対策課

〒915-8530 福井県越前市府中一丁目13番7号

TEL 0778-22-3000（代表）

FAX 0778-22-3886

<http://www.city.echizen.lg.jp>

E-mail: [mathikou@city.echizen.lg.jp](mailto:mathikou@city.echizen.lg.jp)